

ドクター・シンタックス 三度目の旅 / ウィリアム・クーム  
神奈川大学図書館所蔵

## 目次

- 【特集】  
“ネットで検索”なんてできなかった・・・  
— 古<sup>いにしえ</sup>の旅行ガイドブックを読む — …… 2頁
- 【連載】新OPACをはじめよう！  
②蔵書検索以外のタブ機能について …… 4頁
- 2015年度 図書館ガイダンス報告 …… 6頁
- 《図書館の所蔵資料紹介》  
シリーズ『世界の料理』/  
タイムライフブックス編集部編 …… 7頁
- 図書館からのお知らせ  
今号の表紙  
編集後記 …… 8頁

## 本の歴史を変えた人々⑨

ニコラ・ジャンソン  
(Nicolaus Jenson, 1420?-1481)

15世紀の三大印刷者として、ドイツ人ヨハネス・グーテンベルク、イタリア人アルドゥス・マヌチウスとともに挙げられ、ローマン活字体のデザイナーとしても知られている。

フランスに生まれ国王シャルル7世の命を受け、グーテンベルク（一説にはフスト、シェッファ）のもとで印刷術を学ぶ。後にヴェネツィアに渡り、1470年から十年間の間に105点の本を印行した。書誌学研究者の庄司浅水氏によると、活字書体を美術的水準に引き上げた最初の人とされている。

## 【特集】

# “ネットで検索”なんてできなかった・・・

## — <sup>いにしえ</sup>古の旅行ガイドブックを読む —

今年の夏は旅の計画を立てている人も多いかもしれません。見知らぬ土地へ出かけて行き、異なる言葉話す人々と出会う。観たことのない景色の中に身を置き、世界の大きさを実感する。旅で体験した事はその後の人生を変えてしまうことすらあります。

現在はどこにいても簡単に世界中の情報を知ることができます。しかしネット検索もできなかった時代の人々は、旅に出る前の準備としてどのような情報を手に入れ、何を頼りに旅を続けたのでしょうか。また、海外からの情報が簡単に手に入らなかった時代、人々はどうやって世界を知ったのでしょうか。

図書館の蔵書から19世紀の観光ガイドブックと江戸、明治時代の名所案内を紹介します。

### ■19世紀 世界旅行の二大ガイドブック『ベデカー』と『マレー』

ネットもスマホもない時代の携帯サイズの旅行ガイドブックには、見知らぬ土地へ出かけていく旅人の友となるべく、様々な情報が詰まっています。共に19世紀に刊行が開始されたベデカーとマレーは、旅行ガイドの代名詞になるほど主にヨーロッパで広く普及しました。この二つの旅行ガイドは、詳細で正確な内容によって人気のガイドブックになりましたが、その内容を読みこなす前提として高い知性と教養が必要とされたと言われています。それは当時、新興の社会階層であるブルジョアジーが盛んに観光旅行に出かけ、その必要からこれらのガイドブックが生まれたという事情が関係していると言われています。

#### ベデカー旅行ガイドブック Baedeker's guide books

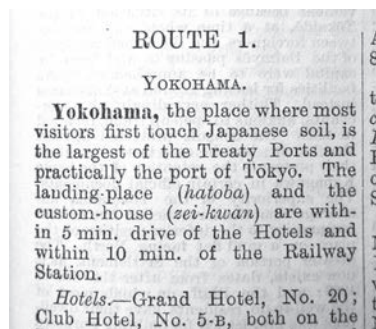
マレーと人気を二分したベデカーは、1828年にドイツ人のカール・ベデカーによって刊行が開始されました。小口がマープルで装飾された美しい本で、マレーと同じ赤い表紙をしています。マレーとベデカー、外見や形式がほぼ同じ二つのガイドブックは、旅行者が携帯しやすいようポケット版で作られており、小さな活字で多くの情報が掲載され、通りの名前まで書かれた詳しい折込地図もたくさん入っています。



ベデカー旅行ガイドブック  
イギリス編と大英博物館案内

#### マレー旅行ガイドブック 日本編 A handbook for travellers in Japan / by Basil Hall Chamberlain, W. B. Mason. - 4th ed. rev. & augm. - J. Murray, 1894.

イギリス人ジョン・マレーによって1836年に刊行が開始されたガイドブックの日本編。執筆者は『日本事物誌』の著者、バジル・ホール・チェンバレン。日本全国の観光スポット、各地の歴史や宗教の解説、交通機関の料金表、簡単な日本語会話など実用的な情報も盛り込んだ旅行ガイドになっています。その中で横浜は、日本を訪れるほとんどの外国人が最初にその土を踏み地として一番目に紹介されています。



横浜の記述がある頁

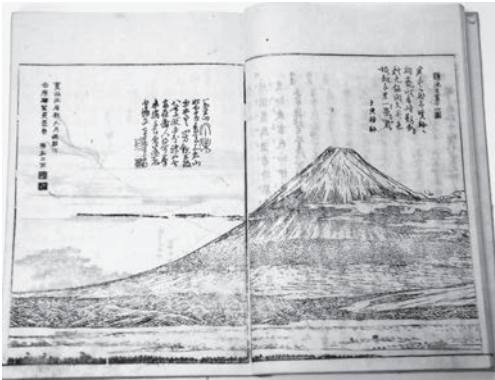
請求記号：A293.3-3.G 横浜 地下書庫 (Baedeker's guide books)  
A290.9-23.D 横浜 貴重書庫 (Murray handbook)

## 江戸時代 — 庶民の旅

その昔、日本人にとって旅は決して楽しいものではなく、むしろ苦行に近いものでした。しかし世の中が安定し、街道や宿が整備された江戸時代から庶民の間にはレクリエーションとしての旅行が広まったと言われています。旅行が大衆化した江戸後期から明治期にかけて、地方や街道を中心に各地の名所名物や、その土地にまつわる話などを記した「名所図会」という木版の名所案内記が百種類あまりも刊行されました。当時、名所図会刊行のブームを興したのは秋里籬島（あきさと りとう）という編著者で、竹原春泉齋という絵師と組んで毎年のように名所図会を刊行しました。

### 東海道名所圖會 六巻

秋里籬島 [編]；竹原春泉齋 [ほか画]；巻之一—巻之六。—小林新兵衛 [ほか]，1797年



名所図会には、その土地にちなんだ和歌、漢詩や絵師による木版画が多数載せられました。東海道名所図会は巻之一：京都・近江編から始まり、近江・伊勢、尾張へと続き、相模・武蔵編までの六巻構成になっています。左は富士山の版画が美しい巻之五で、編者の秋里籬島は日本一の山に多くの紙数をさいています。

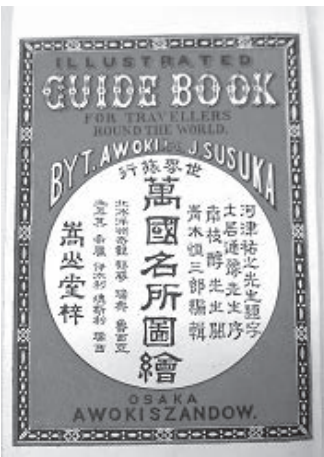
請求記号：B291-764 横浜貴重書庫

## 明治時代 — 憧れの世界旅行

明治期の日本では、海外旅行は近代化の担い手となるエリート留学生など、一部の人間に限られた特権でした。しかし一般庶民の異国への興味はとて大きく、海外旅行は憧れの的でした。このような時代、海外旅行を夢見る庶民を楽しませたガイドブックが刊行されました。

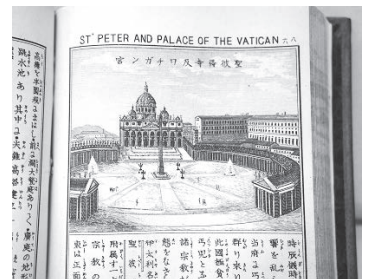
### 世界旅行萬國名所圖繪

青木恒三郎編輯；南枝醇閔；巻1—巻7。—嵩山堂，1885年



アメリカ、ヨーロッパ各国、ロシア、アフリカ、アジアをめぐる七巻に地図の付いたこの名所図会は、旅行者が携えるガイドブックというよりは、海外に行けない読者が座ったままで世界を漫遊し、心の目、耳を楽しませることができるようにとの目的で作られたガイドブックです。

編者は自ら出版社を興し、洋書なども取り扱う書店主でもあった青木恒三郎。ほぼ全ページにわたって載せられた世界各地の名所・旧跡を描いた精密な銅版画とそこに添えられた説明文は、明治期の人々の目と心を大いに楽しませたに違いありません。



請求記号：B290.9-202 横浜貴重書庫

〔連載〕

## 新 OPAC をはじめよう！ ②蔵書検索以外のタブ機能について

今回は、前回紹介した蔵書検索タブ以外のタブについて説明します。蔵書検索タブでは、神奈川大学で所蔵している資料の検索ができました。それ以外のタブでは、神奈川大学で所蔵していない資料を検索することができます。まずは蔵書検索を使い、それで資料が見つからない場合は、他のタブを使って検索してみましょう。



OPAC トップ画面

### ■他大学検索

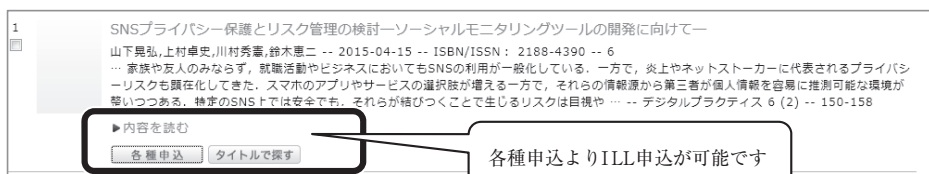
他大学検索タブでは、国内の大学図書館で所蔵している図書・雑誌を検索することができます。蔵書検索タブで思うような資料がヒットしなかった場合は、所蔵範囲を神奈川大学から国内大学に広げて検索してみましょう。利用したい資料があった場合は検索結果画面から、文献複写や現物貸借で取り寄せができます (ILL)。申込には、MNS アカウントが必要です。



また、所蔵している大学に行って資料を閲覧することもできます。レファレンスカウンターで紹介状を発行しますので、ご相談ください。

### ■論文検索

雑誌論文は、テーマにおいて最新の情報を収集するのに非常に役立つ資料です。論文検索タブでは CiNiiArticles と同じ、国内の学術雑誌論文を検索することができます。検索結果画面では、論文タイトル、その論文を取録している雑誌タイトル、巻号、ページ等が分かり、本文まで画面上で見ることができるものもあります。該当の雑誌を神奈川大学で所蔵していない場合は、ILL での取り寄せも可能です。その場合は下記「各種申込」より申込をしてください。



## ■リポジトリ

リポジトリ（神奈川大学学術機関リポジトリ）とは、学内の知的生産物をインターネット上で無償公開しているサービスです。神奈川大学所属の先生方の論文を、ほぼ全文まで見ることが可能です。例えば指導教授の参考文献の書き方を参考にしたいときや、全文をその場で入手したい場合に検索してみるとよいでしょう。また、図書館で所蔵している貴重書も一部公開しています。リポジトリは既に公開していましたが、今回 OPAC のタブに組み込みました。

## ■横断検索

横断検索タブでは、蔵書検索等の表示されているタブおよび、近隣の公共図書館や国立国会図書館の資料等を横断的に検索することが可能です。横断検索の結果は、相手サイトのレスポンス順になります。かなりの件数がヒットしますので、ある程度目的を持って検索先を絞り込んだ方がよいでしょう（例えば、すぐに現物がほしいので、近隣の公共図書館のみを検索対象にする等）。



## ■ディスカバリー

ディスカバリーサービスとは、国内外の様々なデータベースを単一のインターフェースで検索できるサービスのことで、つまり、神奈川大学図書館の蔵書検索も、神奈川大学で契約しているデータベース等も検索の対象になります。これを今回 OPAC に組み込みました。

ディスカバリーは非常に便利な機能ですが、かなりの件数がヒットしますので、逆に結果を精査するのが大変な場合があります。また、全て全文まで見られる訳ではなく、大学で契約しているデータベースにも制限がありますので、ご承知おきください。

ディスカバリーの画面はタブ以外にもあって、検索対象は同じですが、絞り込みの項目や表示順が若干異なります。実際に検索してみて使いやすい方を使ってください。このディスカバリートップ画面に行くには、OPAC の左メニューにある「データベース（学内）」よりアクセスしてください。



神奈川大学ディスカバリーサービストップ画面

『情報リテラシーテキスト 2015』にもこの OPAC の使い方については、各種データベースの利用方法とあわせて詳しく掲載しています。『情報リテラシーテキスト 2015』は図書館で配布しています。

## 2015年度 図書館ガイダンス報告

大学の図書館は、高校までの図書館と大きく違います。蔵書数も多く、専門的な資料がたくさんあるので、どのように利用すればよいのか戸惑う方も多いでしょう。図書館では、大学図書館を使いこなすための第一歩として、毎年4月から5月にかけて、主に新生を対象にガイダンスを実施しています。

今年度横浜図書館では、より多くの方に参加いただけるようにガイダンスの回数を大幅に増やしました。OPACガイダンスでは、リニューアルしたOPACを使用して、神奈川大学の蔵書、他大学の資料、学術論文の検索を行いました。また、図書館員と一緒に館内を回りながら、図書館の使い方案内を受ける図書館ツアーを行いました。平塚図書館では、授業内で経営学部と理学部の全新生を対象に図書館ツアーとOPACのガイダンスを行いました。

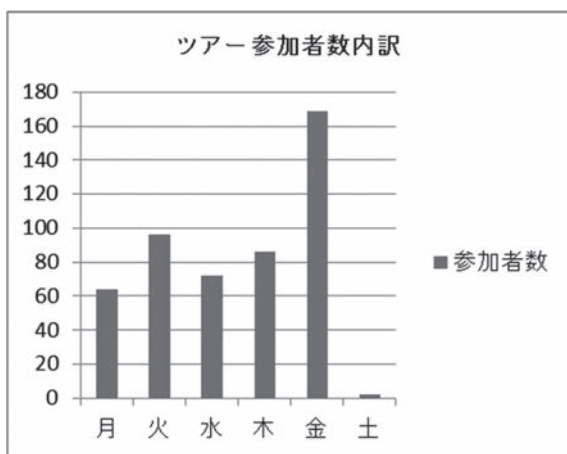
### ■横浜図書館

#### ○図書館ツアー 実施状況

日時：4月6日（月）～5月29日（金）

期間中1日4回実施 ※日曜日を除く

参加人数：489人

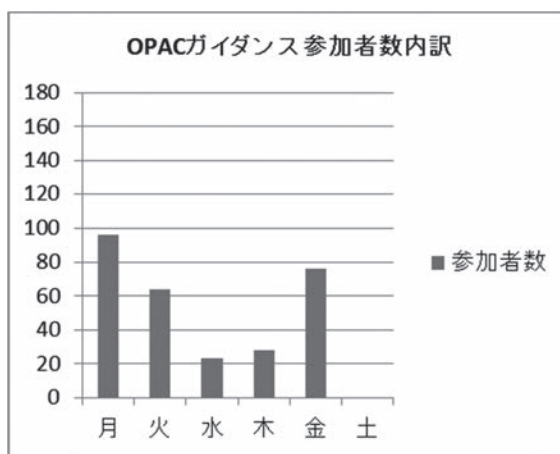


#### ○OPACガイダンス 実施状況

日時：4月6日（月）～6月11日（木）

期間中1日4回実施 ※日曜日を除く

参加人数：332人



横浜図書館では、春のガイダンススタンプラリーと称して、各種ガイダンスに参加してスタンプを集めると、ノベルティがもらえるイベントも併せて開催しました。参加者からは「OPACの使い方がよくわかった」「書庫が広くて驚いた」等の感想が寄せられました。

### ■平塚図書館

#### ○図書館ガイダンス・図書館見学実施状況

日時：4月14日（火）～5月27日（水） FYS 授業時間内に実施

参加人数：経営学部 486人・理学部 367人

平塚図書館のアンケート結果には、「広くて、静かなので勉強に集中できる」「DVDを見られるところがよい」など、施設の充実に驚く声もありました。

横浜・平塚の資料は相互に利用することもできます。ぜひ図書館を活用して有意義な学生生活を送ってください。

## シリーズ『世界の料理』 / タイムライフブックス編集部編

タイムライフインターナショナル 1972-1978年

請求記号：B590.8-2 (本編、別冊作り方編)

横浜地下書庫

世界には様々な食文化があり、その土地の環境や条件によってそれぞれに異なった特徴を持っている。日本では2013年に和食が無形文化遺産に登録され、和食を味わいにやってくる海外からの観光客が増えることも期待されている。本場の名物料理を味わいたいという欲望が旅の動機になることもあるだろう。その地で味わった料理が旅で一番の思い出になった、という経験がある人もいるのではないだろうか。

1972年から78年にかけてタイムライフ社から出版された『世界の料理』シリーズは、各国の郷土料理を紹介する料理本である。本学図書館では、シリーズのうちの12か国の料理とワイン・酒の巻を所蔵している。

大学の図書館で料理の本を所蔵しているのかと不思議に思われるかもしれないが、このシリーズは各国の料理の紹介とその作り方が書かれているだけではない。その国の歴史と風土、祭りや文化からその地域の農作物や作り手、家庭で料理をする主婦といった人々の暮らしぶりまで、様々な角度から料理をとらえ、豊富な写真で紹介した本である。紹介されている国の料理は、アメリカ、イギリス、フランス、中国、ロシア、珍しいところではカリブ海、スカンジナビア、などの巻もある。

アメリカ料理の巻で読者は、南部の伝統料理チリ・コン・カーヌの作り方とその写真に食欲をそそられる一方、アメリカの主婦の家事労働に関する「台所の200年」と題する章で昔の主婦の苦勞を知る。まだ十分な調理器具もない20世紀以前、アメリカの主婦にとって料理とは「食品加工業」に匹敵する重労働であったとある。出版された当時は「ソ連」と呼ばれた時代だったロシア料理の巻では、帝政ロシア時代のきらびやかな文化と伝統を持つ料理の数々が紹介され、当時ソビエト連邦の一国だったウクライナはビーツの生産が盛んであった事から「ソビエトの砂糖壺」と紹介されている。



そして日本。そこには今は見る事のない風景がある。伝統的な行事料理や日本料理も姿を消しつつあるのだろうが、それでも少しずつ姿を変え、今では家庭料理よりはむしろ外食産業のメニューとして残っている料理も多いように思える。

一方、このシリーズは料理のレシピ本としても興味深い。ここに載っている料理をレシピ通りに作れば、時には自分の味覚では太刀打ちできないと思えるほどダイナミックな味が再現できる。現代の洗練された味覚には合わないかもしれないが、おそらく経験したことのない世界の味である。

この本が出版された1970年代、読者は異国への興味とあこがれをもってこの本を眺めたことだろう。今、同じ本を我々はすでに消えてしまった風景や料理として、少しの寂しさと共に眺める。それでも世界のどこかには、この本の写真そのままの風景、同じ味の料理が残っているかもしれない。自分の目と舌でそれを確かめたければ、旅に出るしかないのである。

(図書館資料サービス課 荏原 直子)

## 図書館からのお知らせ

### 横浜・平塚共通

#### ◎夏季長期貸出について

貸出期間：7月13日(月)～9月16日(水)

返却期限：9月30日(水)

対象：学部生

冊数：10冊

#### ◎一般公開休止について

前期試験実施に伴い、下記期間中の一般公開を休止いたします。

期間：7月1日(水)～7月31日(金)

#### ◎一斉休暇に伴う休館について

期間：8月11日(火)～8月16日(日)

### 横浜

#### ◎夏季休業期間中 [8月1日(土)～9月17日(木)]

の開館スケジュールについて

○ 開館時間：9:30～18:00

○ 3Fは閉室します。

※日・祝日および一斉休暇期間は休館です。

### 編集後記

電子ジャーナルという便利なツールがある。学術誌が電子化されたもので、それぞれの出版社のサービスにアクセスするだけで論文が読める。貴重な情報が雑誌数万冊分も収録され、検索も簡単にでき、今ではこれがないのは研究ができないほどになった。そのかわり使い続けるにはそれなりの負担がかかる。ほとんどの版元は良心的だが、例外的に納得できない内容で高額な負担を強いられる場合がある。しかしコンテンツが独占され、契約更新しなければ論文が読めなくなるため、提示された金額で契約することになる。

最近、主流になりつつある音楽の配信サービスは、月々幾らか払えば何千万もの曲の中からいつでも好きな曲を聴けるらしい。音楽ファンにとっては安価で多くの曲を楽しめる嬉しいサービスだが、なんとなく電子ジャーナルの仕組みに似ている気がする。この先、音楽が“世界的規模で展開する大企業”のような存在に独占されなければいいが、と思う。

横浜図書館では6月にレコードのジャケット展示を行った。古い時代のアナログ・レコードにも多くの人々が興味を持ってくれたらしい。展示レコード・リストを載せたパンフレットはあつという間になくなり、音楽の持つ魅力の大きさをあらためて教えられた。

今、音楽を聴く方法は色々ある。LPレコードをじっくり聴く、CDでクリアな音を聴く、配信で好きな曲だけ手軽に聴くなど、いくつもある選択肢から聴き方を選べる事は嬉しい。音楽だけではない、様々なことに多くの選択肢があった方がいい。一つしかない、それを一握りの者が独占するかもしれないのだから。(N.E.)

### 今号の表紙

ドクター・シンタックス 三度目の旅 / ウィリアム・クーム；トマス・ローランドソン

The third tour of Doctor Syntax, in search of a wife : a poem / William Combe & Thomas Rowlandson  
London : Ackermann , 1821

イギリスの諷刺画家トマス・ローランドソンの挿絵によるユーモラスな冒険物語。アクアチント刷の挿絵に合わせて、ウィリアム・クームが文章を付けた。この物語の主人公ドクター・シンタックスは、当時国際的に人気キャラクターになり、陶磁器の図柄になったり、人形が作られたそうだ。